



発行所 公民館
編集 西町 北川郡
印刷所 北洋印刷株式会社
(西郡、巻町、電話204番)

昭和二十七年の

巻町の五大ニュース

巻町教育委員会の設置、道路の舗装、卷信用組合の創立等々、複雑多岐の昭和二十七年もいよいよおし迫り、あと幾日もなくして新しい年を迎えようとしております。この輝ける年の瀬に今年中にこの町の事業、事件、ニュース、その他について「巻町の五大ニュース」をハガキにより回答を求めました。

- 一、八通 道路の舗装
- 二、七〇 巻町教育委員会の設置
- 三、七〇 衆議院議員選挙
- 四、六〇 卷信用組合の創立
- 五、六〇 多加良祭

一位 道路の舗装

しぐれにしつぽりと濡れた道路に、店頭の花の光を反寫し、町をゆきかわす人々の足も自然にはずみ、道巾も廣くなつた様に感ずるこの舗装道路が、(驛通り)四ツ谷通)十一月に完成された。

二位 巻町教育委員

公正な民意により地

次 有権者總数

方の実情に即した教育行政が行われるようにと、この町にも教育委員会が設けられることになり、この委員会の委員を決める選挙が十月五日に行われた。

開票の結果
当 一、一〇五票
久保田 幸作
一、〇六三票
井上 慶證
九〇二票
石川 静江
八八二票
長谷川 清

三位 衆議院議員

選挙

次 有権者總数

六二四票 西川 宇重郎
六、二〇四人
投票数 四、九三一票
有効投票四、八一八票
無効投票 一一三票
投票率 七九、四七%

向巻町議会議長代表委員に土田藤孫子議員が当選し、又教育長に江端巻町助役が選任され十一月一日巻町教育委員会が発足された。

四位 卷信用組合

創立

八月二十八日吉田内閣の抜打的解散に始まる総選挙は十月一日に行われた。この間の一月は立憲演説会、個人演説会と文字通り選挙演説の明暮れそのものだった。
この町からも大島秀一氏が立候補され、一區定員三名に對し三倍の九名、入り乱れての選挙戦は巻町開票の結果、六三一票大島秀一、五六〇 櫻井幸夫、四二九 吉川大介、三四六 北 吟吉、一四五 上村 進、一二二 葛西嘉資、七七 笠原貞造、八 風間啓吉、三山崎平太郎
有権者数六、二四六票
總投票数五、三六九票
有効投票五、三二一票
無効投票 四八票
投票率八五、九三%
結局一區の最高点でこの町より立候補された大島氏が当選された

この五ヶ月間の組合の成長は預貯金及び貸出しの面でも顯著なものがあり仮令充分ではないうにしてもこの組合が巻町町民の金融面に果たした役割は決して小さいものではなかつた。
四位 多加良祭
巻町には巻町全町民の秋祭りと言ふものが特別になく秋は單に多待つ季節に過ぎなかつたで本年十一月町商



(寶まつり)

工会及び町農協では收穫の秋に感謝し併せて巻町の發展を願うため新たに多加良神社を建立した。
祭神には遠く出雲と神戸より大己貴命(大黒尊)事代主命(惠比須尊)を御迎えし十一月七日を御霊代奉鎮祭と號まつりを行い、同時に巻町商工祭を開催して多彩な各種行事を繰り展げ、特にこれに参加した呼物山車十数台は夏の大祭に比遜する賑わいを呈した。

十一日間と定め議第一号、議第二号を上程、全議員を委員とする昭和二十六年度巻町一般會計及巻町國民健康保険特別會計歳入歳出決算認定特別委員会を設置し委員長に山添清一郎氏を選任し議第一号、議第二号を附託した。各決算認定特別委員会は各部門別に小委員会を招集し審査した。十一月二十六日午後一時三十五分 昭和二十六年度巻町一般會計及巻町國民健康保険特別會計歳入歳出決算認定特別委員会出席二十一名欠席五名 昭和二十六年度巻町一般會計及巻町國民健康保険特別會計歳入歳出決算認定特別委員会に於て検討の結果を小委員会委員長の報告に基き綜合審査した結果これを承認した。
十一月二十六日午後四時五十五分 第六回臨時總會 経緯本會議 出席二十名欠席六名 特別委員会に附託された議第一号、議第二号について、決算認定特別委員会委員長より審査の結果正当と認め、本臨時總會の会期を以て承認議決した

十一月十六日午後一時 巻町議会議第六回臨時會議第十九名欠席七名 議第一号 昭和二十六年度巻町

一般會計歳入歳出決算認定の件 議第二号 昭和二十六年度巻町國民健康保険特別會計歳入歳出決算認定の件 一、本臨時總會の会期を

久しく聞きなれた笛音生と云う言葉も近頃余りきかなくなつた。そしてその替りに今度はヒバリ生活と云う事が云われ始めたのである。ちらちら春の野にヒバリの鳴き渡る雲雀の生活は思ひだに長閑な又樂しき姿であり生活である。然ながら「さ」にあらざるである。ガス、電気代はあがる、鉄道賃が上ると思えば又地代家賃の五割あげが決定した。昨今である。さらだにヒバリのわれわれの懐ろが更に拍車をかけた雲雀の囀りの如く一入ヒバリ生活と云う事らしい。花咲き花散り星は移りて何時しか今年の大詰の師走の月と相なつた。師走とは読んで字の如く債鬼に追われて走り廻る先生の姿であると言ふが、これには月給取りだけの問題はなして一般大衆にもあてはまる事なのである。倒産自殺やむなしと池田という役人あがりの大臣がしかも暗れの國會に於いて露語したと云うから、全國二百萬の中小工業者全く呆然としたものである。

はがき回答

昭和二十七年の反省 卷町の五大ニュース

- 一、昭和二十七年中の卷町五大ニュース
二、昭和二十七年中の公民館の反省
三、来年度こそやつてもらいたい事業

- 一、卷町教育委員会委員選挙
二、卷町文化祭諸行事
三、多加良神社
四、本町通り道路の舗装
五、信用組合の設置
六、文化祭の多様な行事が卷町の発展啓蒙のためよかつたと感じた
七、参加したしませんが、史蹟探求の意味でよかつたと思ひます
八、時局、文化講演の開催(金がかかるかも知れませんが中央の名士から)
九、公民館図書の実用(小説、物語と併行して生活の資となる職業的なもの)
十、職業講座の設置(簿記、珠算、速記、ラジオ、電機、農業)
十一、一般教養講座
十二、長谷川八重子九区
十三、①卷町教育委員会設置
十四、②道路の舗装



(賑わう山車)

- 一、(1)よかつた事業は不明であるが、市民館として事業を着々実行しておられることは喜びに堪えません
二、(1)横の連絡機関として時々区長の参集を求めて公民館の内容を知って頂く、これにより町民運動会などうまくなつてもらいたい
三、(1)青少年に対する社会教育を積極的にやつてもらいたい
四、(1)土田藤孫子八区
五、(1)卷町教育委員会設置
六、(1)本町通りの道路の舗装
七、(1)信用組合の設置
八、(1)多加良神社の発展
九、(1)多加良神社の発展
十、(1)信用組合の設置
十一、(1)多加良神社の発展
十二、(1)多加良神社の発展
十三、(1)信用組合の設置
十四、(1)多加良神社の発展
十五、(1)多加良神社の発展
十六、(1)信用組合の設置
十七、(1)多加良神社の発展
十八、(1)多加良神社の発展
十九、(1)信用組合の設置
二十、(1)多加良神社の発展

反省の記

『卷中学校PTAの皆様に』
十二月一日付浦原タ
イムスの記事に町議
文政委員会の席上に去
月十八日卷中学校を郡
婦人会が無断に使用し
て授業を不可能にさせ
た為PTAではひどく
激昂して今後の成行が
注目され、管理當局
を狼狽させているとは
つきり掲載されてあり
ます。これについてP
T Aの一員であり又當
日の責任者の一人とし
て反省してみます。
問題の十八日は農学
校の屋内運動場の落
成式をかねて農産物
の品評会が開かれま
した。毎年の秋の催
物に地方事務所経済
課内生活改善普及会
がこれを利用して田
舎の婦人達を集めて
講演会を開いていま
す。今年も郡内の婦
人達を集める為には
非とも私達婦人會の
秋の講演会を同じ日
に持つてくれと再度
目位のもの)の開設
河治 忠 四区
一、(1)信用組合の創
立
二、(1)卷町教育委員会
委員選挙
三、(1)卷町教育委員会
委員選挙
四、(1)信用組合の創
立
五、(1)信用組合の創
立
六、(1)信用組合の創
立
七、(1)信用組合の創
立
八、(1)信用組合の創
立
九、(1)信用組合の創
立
十、(1)信用組合の創
立
十一、(1)信用組合の創
立
十二、(1)信用組合の創
立
十三、(1)信用組合の創
立
十四、(1)信用組合の創
立
十五、(1)信用組合の創
立
十六、(1)信用組合の創
立
十七、(1)信用組合の創
立
十八、(1)信用組合の創
立
十九、(1)信用組合の創
立
二十、(1)信用組合の創
立

時間厳守を明るい集會

「団体から」の
おたより
十二月九日
午前九時より
出席委員 五名
一、現場視察について
今月は中学校を訪問し
学校施設、その他
について視察した。

公民館が現在の建物
に移つてから毎晩一年
の間ほとんど毎晩の
ように灯がともされつ
つて参りました。
この一年間の館の使
用回数は実に四五九回
月平均三八回強でこの
中公民館二二四、商工
会信組七一、婦人会二
七、青年団一六、其の
他の団体二一六、とな
つており尚且つこの外
に使用申込があつたに
もかかわらずお断りし
なければならなかつ
た。

この様な状況でいろ
いろ御迷惑をおかけい
たしましたが、公民館
によせられる皆さんの
温い御協力によりその
仕事を推進して参りま
した。又その仕事に対
する皆さんの注意事項や
ら希望事項などいただ

き、これを生きた参考
として努力いたして参
りました。
その中の一例ですが
館報「まき」の「は
がき回答」を同一人
だけだけでなくと広
く出したらどうか。
これについては公民
館の毎月開く教養部
の会議の際、出す問
題、回答を求めると
ありますが、勿論始め
の方を主にして職業
別とか命令なども考
慮して回答を求めて
います。それと討論
会の議題が普通これ
によつて決めます。
で講師になつていた
だけですが、何となく
出たところから始め
めての方の趣へお願
いしてあります。だ
が回答の面になると
仲々始めての方の御
返事がいただけず結
局何時も同じような
人達の趣へしか「は
がき」が廻らぬとい
つた形にありますが
でこの点を御了解下
さい。

教育委員会

十二月九日
午前九時より
出席委員 五名
一、現場視察について
今月は中学校を訪問し
学校施設、その他
について視察した。

公民館が現在の建物
に移つてから毎晩一年
の間ほとんど毎晩の
ように灯がともされつ
つて参りました。
この一年間の館の使
用回数は実に四五九回
月平均三八回強でこの
中公民館二二四、商工
会信組七一、婦人会二
七、青年団一六、其の
他の団体二一六、とな
つており尚且つこの外
に使用申込があつたに
もかかわらずお断りし
なければならなかつ
た。

この様な状況でいろ
いろ御迷惑をおかけい
たしましたが、公民館
によせられる皆さんの
温い御協力によりその
仕事を推進して参りま
した。又その仕事に対
する皆さんの注意事項や
ら希望事項などいただ

き、これを生きた参考
として努力いたして参
りました。
その中の一例ですが
館報「まき」の「は
がき回答」を同一人
だけだけでなくと広
く出したらどうか。
これについては公民
館の毎月開く教養部
の会議の際、出す問
題、回答を求めると
ありますが、勿論始め
の方を主にして職業
別とか命令なども考
慮して回答を求めて
います。それと討論
会の議題が普通これ
によつて決めます。
で講師になつていた
だけですが、何となく
出たところから始め
めての方の趣へお願
いしてあります。だ
が回答の面になると
仲々始めての方の御
返事がいただけず結
局何時も同じような
人達の趣へしか「は
がき」が廻らぬとい
つた形にありますが
でこの点を御了解下
さい。

公民館

公民館が現在の建物
に移つてから毎晩一年
の間ほとんど毎晩の
ように灯がともされつ
つて参りました。
この一年間の館の使
用回数は実に四五九回
月平均三八回強でこの
中公民館二二四、商工
会信組七一、婦人会二
七、青年団一六、其の
他の団体二一六、とな
つており尚且つこの外
に使用申込があつたに
もかかわらずお断りし
なければならなかつ
た。

この様な状況でいろ
いろ御迷惑をおかけい
たしましたが、公民館
によせられる皆さんの
温い御協力によりその
仕事を推進して参りま
した。又その仕事に対
する皆さんの注意事項や
ら希望事項などいただ

き、これを生きた参考
として努力いたして参
りました。
その中の一例ですが
館報「まき」の「は
がき回答」を同一人
だけだけでなくと広
く出したらどうか。
これについては公民
館の毎月開く教養部
の会議の際、出す問
題、回答を求めると
ありますが、勿論始め
の方を主にして職業
別とか命令なども考
慮して回答を求めて
います。それと討論
会の議題が普通これ
によつて決めます。
で講師になつていた
だけですが、何となく
出たところから始め
めての方の趣へお願
いしてあります。だ
が回答の面になると
仲々始めての方の御
返事がいただけず結
局何時も同じような
人達の趣へしか「は
がき」が廻らぬとい
つた形にありますが
でこの点を御了解下
さい。

この様な状況でいろ
いろ御迷惑をおかけい
たしましたが、公民館
によせられる皆さんの
温い御協力によりその
仕事を推進して参りま
した。又その仕事に対
する皆さんの注意事項や
ら希望事項などいただ

中学生徒会

先般小学校との合同
會議に於て種々の議題
が討論されたが、その
結果次のような事から
ブル建設に決りまし
た。西川を始め池など
で泳ぐ事が禁じられ
又「特に」中学生とし
て健全な遊興施設が無
いため墮落の途に着く
のではないかと所似
からです。役場に陳情
した所、もう少しとい
うので貴重な授業を費
やして基金のための蝗
取りをやりました。そ
の金は四千九百四十五
円で保管してあります
一、藝能祭
二、本校は創立五週年
を祝しあわせて町の方
々に感謝の意を「とい
うので去る十一月二十
三日に盛大に催しをし
た。その反省の二、三
を拾つてみました。
○役員が各々の分担の
責任を果し終始スム
ースに進行した
○もつと町の方々の観
望を希望します

十三日秋の秋を祝う、
勤労感謝のよき日に修
業会、みのり會では
收穫感謝の意味を含
めて運動會を小学校の
校庭に於て開催した。
勝負を度外視して一
日童心にかえつた農業
に従事する人達の運動
会だけに珍らしいの統
出に走る人、応援する
人、入り乱れての哄笑
に併せて晩秋に珍しい
天候が幸いして終日樂
しく過ぎた。
止むを得ぬ事情の爲
赤さびの修業會不参加
にもかかわらず同区光
のり會の奮闘が光
つていた。後日これに
ついての反省會を開い
た結果、大体次の様な
事が話の中心であつた
一、農家の年中行事の
一つとして毎年行つ
て貰いたい
二、農開期の八月下旬
にやつたら町民運動
會との對立もなかる
三、官公廳の運動會も
あるのだから農民運
動會もあつて悪るい
ことは無い
四、老人も参加出来る
ような種目を取り入
れたらどうか等
最後に当日色々御協力
下さりました学校その
他の方々に對し厚く御
礼申し上げます。
十二月一日漆山村小

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

年卓球選手權大會、一
般男子卓球選手權大會
が卷小学校コートに又
町内地域對抗球大會
が卷中学校に於て華々
しく開催された。
何しろ本大會の参加
者、参加チーム共に優
勝への野心満々互格の
実力を以つて会場に相
まみえ勝んかなの意氣
は技の面にも進行の面
に表われていた。
特に少年卓球選手權
は熾烈な戦いを展開然
かも眞面目な態度で技
を競つていた。
成績は次の通り
少年男子
①細川 武哉「卷」
②大久保金重「ク」
③薄井 定義「燕」
④河治 冬樹「卷」

婦人会

本年度最後の行事は
帯の結び方講習と講演
會の予定で、講演會は
新潟大学長岡分校教授
栗原たま先生で中旬、
講習は十一月にもあつ
たんですが講習にもれ
た人達のために再び開
きます。簡単に結んで
しかも短尺の布で出来
るのが特長、生活簡素
化の一助になるといふ
ので好評。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

年卓球選手權大會、一
般男子卓球選手權大會
が卷小学校コートに又
町内地域對抗球大會
が卷中学校に於て華々
しく開催された。
何しろ本大會の参加
者、参加チーム共に優
勝への野心満々互格の
実力を以つて会場に相
まみえ勝んかなの意氣
は技の面にも進行の面
に表われていた。
特に少年卓球選手權
は熾烈な戦いを展開然
かも眞面目な態度で技
を競つていた。
成績は次の通り
少年男子
①細川 武哉「卷」
②大久保金重「ク」
③薄井 定義「燕」
④河治 冬樹「卷」

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

スポーツ

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

森本豊

昭和廿七年もあと余
す所僅か、何かしら残
り措置し気がするのほ

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

かえりみて

昭和廿七年もあと余
す所僅か、何かしら残
り措置し気がするのほ

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

森本豊

昭和廿七年もあと余
す所僅か、何かしら残
り措置し気がするのほ

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

かえりみて

昭和廿七年もあと余
す所僅か、何かしら残
り措置し気がするのほ

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

森本豊

昭和廿七年もあと余
す所僅か、何かしら残
り措置し気がするのほ

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

かえりみて

昭和廿七年もあと余
す所僅か、何かしら残
り措置し気がするのほ

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

森本豊

昭和廿七年もあと余
す所僅か、何かしら残
り措置し気がするのほ

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

かえりみて

昭和廿七年もあと余
す所僅か、何かしら残
り措置し気がするのほ

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

森本豊

昭和廿七年もあと余
す所僅か、何かしら残
り措置し気がするのほ

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

希望に満ちた面
もちの百五十名、新し
い日本の農業の將來は
かかつて私達の双肩に
あることを自覚したよ
うであつた。

環境整備と改善

如何に人間關係に作用しているか

卷小学校 岡本正孝

③ まりつきをする

女子を主体としてい
る。実に楽しそうに
ある。併し、その楽し
さも暴君的の男子に
よつて、手まりをと
られたり、遊び場所
を占領されたりして
しまう。女の子はキ
ョトンとしてゐる。
手まりを取つた男子
は鬼の首でも取つた
かの如く、ワイワイ
とさわいで、その手
まりを自分達の遊び
道具にする。女の子
が少しでも口を出さ
ず、しりをたたいた
りする。女の子は逃
げる。そして教師に
つげ口をして助をも
とめる。教師は「ま
ず男の子をしかる。
ただ單に叱つては
けない。その事をく
り返さぬ様に兒童た
ちの実態を把握して
から指導する必要が
ある。」

④ 船頭ごっこをする

学校の前に小川が流
れてゐる。四年生の
子がその小川の中に
六尺の一尺位の板に
のつてこいでゐる。
勿論板は地底につい
ていて動かないが、
中々興味があるらし
い。

子供たちの

よりよき幸福の爲に

⑤ 水おそびをする

学校の中庭に周囲二

十五米位の池がある
雨のためその池一ぱ
いに水がたまつてい
る。その中に着物を
だらだらして遊んで
ゐる。こんな事は皆
週番生によつてとめ
られてしまふ。

(つづく)

御用心を!!

巻町の十大疾患! (一月)

(昭和二十六年)

- 1 寒 胃 二一三
- 2 気管支炎 二〇七
- 3 胃腸の疾患 一〇六
- 4 耳の疾患 九五
- 5 皮膚の疾患 七〇
- 6 歯 科 五三
- 7 外 傷 五〇
- 8 眼の疾患 四一
- 9 アンギーナ 三七
- 10 寄生虫の病 三〇

- 1 呼吸器疾患 三五八
- 2 消化器 一六三
- 3 皮膚の 九八
- 4 耳の 九三
- 5 鼻咽喉の 八三
- 6 傳染病 八二
- 7 歯 科 七七
- 8 眼の疾患 六三
- 9 中毒及外傷 五七
- 10 神経系統疾患 五四

終戦後、新教育が行
われ子供の立場が尊重
され、よりよい教育が
行われるようにとPTA
Aが生れまして数年の
この頃ほんなんもので
ありましようか。

PTAの性格・活動
について極くかんたん
に申しますならば、P
TAは民間団体であり
ますから公の支配を受
けません。かわりにそ
の団体の良否は団体自
身、會員のものと考え
方に責任があります。

「御書讀而奉拜見候
場之義者山吉一修齋證
之證人、御当地(被差
木之地之者者小国家中
分相抱候間小國カタへ
三人請取申候。黒龍家
手堅被仰付、御尤ニ候
中ニ可罷越候。両城之
中ニ可罷越候。下郡
御仕置可奉存候。木
加斯候。(下略)」

天正十二年の眞木

【披露・聞書・覺書】
御書讀而奉拜見候
場之義者山吉一修齋證
之證人、御当地(被差
木之地之者者小国家中
分相抱候間小國カタへ
三人請取申候。黒龍家
手堅被仰付、御尤ニ候
中ニ可罷越候。両城之
中ニ可罷越候。下郡
御仕置可奉存候。木
加斯候。(下略)」

とのありませんによう
活動の主体は會員であ
りますから會員が積極
的に協力し、参加する
ようにして頂きたいし
又出来るだけ多く會員
が参加出来る様に計画
されることが望ましい
ことでもあります。

【家庭重宝】
氣のきいた漬物
数の子磯香漬
お正月のお料理
にもむきます。材
料は数の子百匁と
して、他に同量の
米こうじとするめ
いか、上等の醤油一升
程用意して下さい。
◇漬け方 数の子は「う
ろこ」や「すじ」をきれ
いに取り除いて水洗い
し、するめいかは縦三
厘のせん切りにします
米こうじをばらばらに
ほぐして数の子とする
めを加え、これを蓋つ
きの広口ビン(中をき
れいに乾したものに)
入れ、醤油を加えてし
っかり蓋をし、日本紙
の二重巾位の帯状のも
ので目ばりをしておく
一ヶ月位で頂けます。

(註)これは天正十二
年四月十六日三條城の
甘藷長重が上杉景勝に
下越の状況を報告した
一節である。
当時天正六年の所謂
御館の乱以来、新発田
城尙景勝に屈せず「い
ういう」の状態であり
黒龍は国上の近所、小
国は岩室の天神山、木
場は中の口川の木場で
あり、いづれも景勝方
新発田方は新瀉に築城
攻めたり攻められたり
していた。